

青森県高等学校商業教育研究会

研究誌編集委員会 発行

編集 弘前実業高等学校

三沢商業高等学校

下山学園高等学校

鈴木 瞳

佐藤 雅哉

半田 莉玖斗

東北大会の感想

各校新体制となり、緊張した青森県大会を勝ち進んだ
高校生が東北大会でも力を発揮し、活躍しています。

令和六年度第五十一回

東北六県高等学校ビジネス計算競技大会

十一月一日

三沢商業高等学校 二年 太田 若那

今回の東北大会は青森県開催ということもあり、絶対に一番を取りたいと思って臨みました。珠算の部では三大会ぶりの優勝、電卓では初優勝と三沢商業高校としてだけではなく、県内初のダブル優勝を達成することができました。このような結果は顧問の先生の熱心な指導と、部員全員が同じ方向に向かって頑張った成果だと感じています。ビジネス計算競技大会は技術だけでは勝つことができない競技で、精神面や人間力も必要なので、普段の練習の他に合宿や遠征などで鍛えています。大変ですが、それらは社会に出て生きていくためにも重要なことだと感じています。これからも周りの人たちへの感謝を忘れず、来年の全国大会で両競技とも「日本一」を目指して部員全員一丸となって頑張っていきたいです。



三沢商業高等学校 二年 根岸 沙耶
今回の東北大会では団体メンバーとして参加し、団体競技が珠算と電卓ともに優勝という結果でした。電卓は、初優勝だったのでとても嬉しかったです。個人競技では、新入戦に続いて一位という結果を残すことができました。新入戦のときよりもプレッシャーを感じて、大会直前に緊張してしまいました。次の大会では、緊張に負けず自信をもって大会に挑めるように、もっといろんな問題を解いて自分のスキルアップにつなげていきたいです。



八戸商業高等学校 二年 川畑 潤弥

十一月に行われた東北六県高等学校ビジネス競技大会で、私たち珠算部は珠算の部、電卓の部ともに団体競技で第二位に入賞することができました。高いスキルを持った各県代表の選手たちと競技をすることで、部員全員が自信を持つことができたと同時に、自分たちの課題を知ることができました。来年の六月に行われる全国大会予選では、珠算の部、電卓の部ともに団体競技で全国大会への切符を勝ち取ることができるよう、これからも日々の努力を怠らず、より一層課題克服の練習に励んでいきます。

下山学園高等学校 一年 澁谷 妃鞠

今回私が初めてビジネス計算の東北大会に参加出場してみ、緊張感があったものの、日ごろの練習の成果を発揮し、読上暗算、読上算、応用計算において入賞することができてよかったです。次の大会にむけて一生懸命練習して入賞を目指したいです。



令和六年度第六十二回
東北六県高等学校ワープロ競技大会

十月二十六日

八戸商業高等学校 二年 殿村 漣

今年度の東北大会は山形の米沢商業高校で開催され、団体二十五校、七十九名の参加でした。昨年は団体六位という結果でしたので今年は上位入賞を目指していました。結果は団体三位、個人二位と六位という結果でした。個人では一位との打数差が五十打程でしたのでエラーを抑えなければ追いつけない打数ではないと感じました。反省点は緊張から普段の力が出せなかった選手がいたり、大会用プリンタの印刷ミスから正賞を逃した選手がいたことで、次年度は日頃の練習から緊張感を持って練習し、本番は練習の気持ちでリラックスして臨んでいきたいと思えます。今後は、練習方法の見直しや改善をしながら、仲間全員で頑張っていきたいと思います。

三沢商業高等学校 二年 稲田 悠花

私は東北大会に選手として初めて出場しました。今大会の目標は、団体三位以内、個人入賞でした。大会当日は、緊張して思うように指が動かさず焦ってしまいました。後半になると落ち着いて打つことができました。結果は、団体は惜しくも四位ということで目標を達成することができませんでした。個人で優勝することができて自分が優勝できたことよりも三沢商業という名を東北大会で残せたことが何よりも嬉しかったです。

次の県大会は最後の全国大会への大事な切符となるので団体で一位を取れるように頑張りたいです。





令和6年度 各種大会結果報告



第56回青森県高等学校ワープロ新人競技大会 兼 第62回東北六県高等学校ワープロ競技大会県予選会

《ワープロの部》

◎団体

第1位	八戸商業高等学校	3,876点
第2位	三沢商業高等学校	3,863点
第3位	青森商業高等学校	2,626点

◎個人

第1位	三沢商業高等学校	稲田 悠花	1,674	打数
第2位	八戸商業高等学校	殿村 漣	1,495	打数
第3位	八戸商業高等学校	大道 悠桜	1,368	打数
第4位	三沢商業高等学校	小山石 優風	1,113	打数
第5位	三沢商業高等学校	中村 彩智花	1,076	打数
第6位	八戸商業高等学校	宇佐美 徠夢	1,013	打数

◎1年生の部・個人

第1位	三沢商業高等学校	小山石 優風	1,113	打数
第2位	三沢商業高等学校	中村 彩智花	1,076	打数
第3位	三沢商業高等学校	中岫 彩乃	1,002	打数
第4位	八戸商業高等学校	松本 倫	974	打数
第5位	三沢商業高等学校	村田 凌汰朗	970	打数
第6位	三沢商業高等学校	北向 陽太	899	打数



第56回青森県高等学校ビジネス計算新人競技大会

兼 第51回東北六県高等学校ビジネス計算競技大会青森県予選会

《珠算競技の部》

◎団体競技

第1位	三沢商業高等学校	1,310点
第2位	八戸商業高等学校	880点
第3位	下山学園高校	590点

■読上暗算競技

第1位	三沢商業高等学校	坂澤 里優
第2位	三沢商業高等学校	小野寺 星七
第3位	三沢商業高等学校	下田 稜馬

■読上算競技

第1位	三沢商業高等学校	坂澤 里優
第2位	三沢商業高等学校	太田 若那
第3位	三沢商業高等学校	下田 稜馬

◎個人総合競技

第1位	三沢商業高等学校	太田 若那	470点
第2位	三沢商業高等学校	下田 稜馬	440点
第3位	三沢商業高等学校	鎌本 咲紅	400点

■応用計算競技

第1位	三沢商業高等学校	太田 若那
第2位	三沢商業高等学校	下田 稜馬
第3位	八戸商業高等学校	清水 心路



《電卓競技の部》

◎団体競技

第1位	三沢商業高等学校	1,580点
第2位	八戸商業高等学校	1,470点
第3位	青森商業高等学校	1,020点

■読上算競技

第1位	三沢商業高等学校	大澤 千夢来
第2位	三沢商業高等学校	吉田 大晟
第3位	八戸商業高等学校	川畑 潤弥
第4位	八戸商業高等学校	藤谷 和
第5位	八戸商業高等学校	千葉 瑠栞
第6位	青森商業高等学校	関 凜太郎

◎個人総合競技

第1位	三沢商業高等学校	根岸 沙耶	540点
第2位	三沢商業高等学校	大澤 千夢来	520点
第3位	三沢商業高等学校	沼山 知央	520点
第4位	三沢商業高等学校	吉田 大晟	520点
第5位	八戸商業高等学校	川畑 潤弥	500点
第6位	八戸商業高等学校	内城 夏月	490点

■応用計算競技

第1位	三沢商業高等学校	大澤 千夢来
第2位	三沢商業高等学校	根岸 沙耶
第3位	八戸商業高等学校	藤谷 和
第4位	八戸商業高等学校	高橋 凌昊
第5位	八戸商業高等学校	川畑 潤弥
第6位	八戸商業高等学校	鈴木 悠

第29回青森県高等学校簿記競技大会

応用部門

◎団体の部

第1位	三沢商業高等学校	506点
第2位	八戸商業高等学校	478点
第3位	青森商業高等学校	260点

基礎部門

◎団体の部

第1位	三沢商業高等学校	258点
第2位	弘前実業高等学校	242点
第3位	青森商業高等学校	226点

◎個人の部

第1位	三沢商業高等学校	寺井 瑤貴	193点
第2位	八戸商業高等学校	石川 友菜	178点
第3位	三沢商業高等学校	佐々木 珠緒	169点
第4位	八戸商業高等学校	竹井 心那	165点
第5位	三沢商業高等学校	橋本 愛央	144点
第6位	八戸商業高等学校	工藤 陽乃真	135点

◎個人の部

第1位	三沢商業高等学校	須藤 輝	93点
第2位	弘前実業高等学校	田中 聖真	89点
第3位	青森商業高等学校	野呂 藍琉	89点
第4位	三沢商業高等学校	坂本 未咲紀	86点
第5位	青森商業高等学校	佐川 依央湊	83点
第6位	弘前実業高等学校	新岡 沙耶	81点





大会参加初めての選手も多かったと思います。普段の練習の成果を発揮できた生徒もできなかった生徒も次の目標に向けて頑張りましょう。

令和六年度第五十六回

青森県高等学校ビジネス計算新人競技大会



三沢商業高等学校 二年 下田 稜馬
今回の東北大会予選では、珠算競技の団体メンバーに入りたくて、日々の練習に取り組んできました。僕は、普通計算と応用計算のうち普通計算は自信があるのですが、応用計算は問題次第で解けない問題や時間のかかる問題があります。日によって安定した点数を取ることができないので、その課題を克服するために友人に問題を聞いたりして努力しました。大会では、団体メンバーに入ることができ、自分でも納得いくような結果になりました。三沢商業珠算部は、数々の成績を残しており資格取得にも力を入れています。その一員としてこれからも頑張っていきたいです。

三沢商業高等学校 二年 大澤 千夢来
今回の新人戦は三年生引退後の初の県予選で私たち二年生にとっては、最後の大会でした。結果は珠算電卓ともに団体優勝、個人では総合競技二位と部門別競技で読上げと応用の両方で一位を獲得することができました。団体優勝(二冠)五連覇という結果を残せたことがとても嬉しかったです。しかし個人競技で、ミスをしてしまい、個人優勝を逃したことが悔しかったです。私は緊張に弱く本番で練習通りの結果を残せていないことが多いので緊張にも慣れていけるように頑張りたいです。



令和六年度第五十六回

青森県高等学校ワープロ新人競技大会



三沢商業高等学校 一年 小山石 優風
今回の新人戦は八戸商業で行いました。慣れない環境での大会に最初はとても不安でしたが、前日練習を念入りに行うことで大会本番にはいつもの実力を出すことができましたと思います。今回の結果は団体二位で一位の八戸商業との差がとても僅差で悔しかったです。練習に励み、丁寧に打てるように、そして早く打てるようにしたいと思います。次の大会では他校に負けないように満足のいく結果を残したいです。



令和六年度第二十九回

青森県高等学校簿記競技大会



青森商業高等学校 一年 野呂 藍琉
初めての大会でいろいろとわからないことがありましたが、結果は三位というとてもいい順位を取ることができて嬉しかったです。今回の順位は、毎日放課後に一所懸命に取り組んだ成果が出たのだと思います。ですが、やる気のない日や、真剣に取り組まない日もあったことで、二位や一位をとるチャンスを失ったと感じています。今回の結果に満足することなく、これからはもっと勉強に励み、より良い結果を残すことができるように頑張りたいです。



三沢商業高等学校 二年 寺井 瑠貴

私たちは、基礎部門・応用部門ともに団体優勝することを目指して、日々練習に励んできました。開場校が三沢商業高校だったこともあり、適度な緊張感をもち、大会に挑んでいたと思います。結果は、基礎部門・応用部門ともに団体優勝し、目標を達成することができました。この結果を残すことができたことは、親身になって教えてくださった先生や、つらい時に助けてくれた家族や友人がいたからだと思います。支えてくださった沢山の方々に本当に感謝しています。来年の春には、全国大会につながる県予選会があるため、お互いに教え合うことで、部員全員が自分の力を高められるように頑張っていきます。



弘前実業高等学校 一年 田中 聖真

私は新人簿記大会で日々の積み重ねの大切さを学びました。大会前の簿記部では大会の過去問を時間を計りながら解きます。できるだけ本番に近い状態で解くことで、本番で余裕をもって問題を解くことができます。また、多くの過去問を解くことで、いろいろな問題に対応することができます。今回の大会の成績は日々の積み重ねあつてこそだと痛感しました。





各校の取り組み

各校では新商品の開発やビジネス教育が進められています。

八戸商業

三年 一方井 遥音

八戸市の伝統食「こびりっこ」を研究したきっかけは、八戸について話し合う中で感じた「伝統食の衰退」と「人口減少」に対する危機感でした。そこで、私たちは四つの仮説を立て、アンケート調査やインタビュー、観察など多角的な調査を実施し、計三回の試作を重ねました。試行錯誤の末、「こびりっこ」が敬遠される主な要因である「赤飯の味」に着目し、八戸名物のせんべい汁の味わいを取り入れました。これにより、老若男女問わず親しみやすい新しい「こびりっこ」が完成し、有限会社やまはるで販売していただけたことになりました。八戸の伝統と新たな魅力が詰まったこの商品を、ぜひお試しください！



こびりっこ



たまはる×八戸商業

三沢商業

本校はSAH（スーパー・アカウンティング・ハイスクール）に指定され、簿記教育に力を入れております。小学五年生から中学三年生、そして保護者を対象に、九月から十月にかけて簿記教室を開催しました。内容は日商簿記検定「初級」とし、基礎的な簿記の知識に触れ、商業高校での学びに興味関心を抱いてもらうことを狙いとしています。地域との連携、そして縦の接続に繋がる簿記教室をこれからも続け、少しでも「商業高校で学びたい」と思う学生が増えることを願っています。



下山学園

十月九日から十一日にかけてインターンシップを行いました。地元である鶴田町の企業様を中心に、様々な分野の企業様にお世話になりました。授業だけでは得ることができないお客様との接し方や品出し、運搬作業などを通じて「働く」ことのやりがい、難しさ、そして楽しさを学ぶことができました。



弘前実業

ビジネス基礎特別講座

一学年商業科二クラスにおいて、カンボジアでホテル経営等をしている五所川原市の海老名栄人様をお迎えして特別講座を開いていただきました。講師の方の経験から視野を広く持つこと、たくさんの方の物事に興味を持ち挑戦することなどを学ぶことができました。日本と東南アジアの違いや東南アジアの現状についても知ることができ、グローバルビジネスをはじめ、これから深く関わっていくであろうビジネスについて考えるより良い機会となりました。



情報デザイン特別講座

一学年情報処理科において、株式会社 LaborRee の太田絵里子様からデザインの仕事や起業についてお聞きすることができました。デザインの目的やデザインする上で心がけていることなど多岐にわたり教えていただきました。他に夢を持つことの大切さ、キャリアプランについても教授いただき、生徒は将来について深く考えるきっかけとすることができました。

